



## 授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
前期	1 週	交流の基礎	交流とは何か、特に直流との違いについて理解できた。	
	2 週	正弦波交流の性質	最大値や周波数などの、正弦波の基礎項目について理解できた。	
	3 週	位相差・平均値と実効値	位相差の意味と、平均値・実効値の計算方法について理解できた。	
	4 週	正弦波交流の合成	正弦波を合成する方法について理解できた。	
	5 週	ベクトルによる合成	正弦波の合成を、ベクトルを用いて表現する方法について理解できた。	
	6 週	L と C の電圧と電流	コイルを流れる電流・コンデンサの両端の電圧を求められた。	
	7 週	復習	これまでの内容の確認をし、試験に備える。	
	8 週	前期中間試験	前期 1 週～7 週までの範囲の試験問題を解く。	
	9 週	解答・解説	前期中間試験の答案を返却後、復習を行う。	
	10 週	RL・RC 直列回路	RL・RC から成る直列回路について、電圧・電流を求められた。	
	11 週	RLC 直列回路	R・L・C から成る直列回路について、電圧・電流を求められた。	
	12 週	RL・RC 並列回路	RL・RC から成る並列回路について、電圧・電流を求められた。	
	13 週	RLC 並列回路	R・L・C から成る並列回路について、電圧・電流を求められた。	
	14 週	交流電力(1)	コイル・コンデンサを含む回路の電力を求められた。	
	15 週	交流電力(2)	有効電力、無効電力、皮相電力について理解できた。	
	16 週	前期期末試験	前期 10 週～15 週までの範囲の試験問題を解く。	
後期	1 週	解答・解説	前期期末試験の答案を返却後、復習を行う。	
	2 週	複素数	複素数の基礎項目と簡単な計算について理解できた。	
	3 週	複素数の計算(1)	複素数の乗法・除法とベクトルの大きさ・偏角について理解できた。	
	4 週	複素数の計算(2)	複素数の回転や共役複素数について理解できた。	
	5 週	交流回路の記号法表示	記号法を用いた、電圧・電流表記、オームの法則について理解できた。	
	6 週	RL・RC 回路の記号法表示	コイル・コンデンサから成る回路の記号法計算について理解できた。	
	7 週	RLC 回路の記号法表示	R・L・C から成る回路の記号法計算について理解できた。	
	8 週	復習	これまでの内容の確認をし、試験に備える。	
	9 週	後期中間試験	後期 2 週～8 週までの範囲の試験問題を解く。	
	10 週	解答・解説	後期中間試験の答案を返却後、復習を行う。	
	11 週	複素インピーダンス	インピーダンスの記号法による回路計算について理解できた。	
	12 週	複素アドミタンス	アドミタンスの記号法による回路計算について理解できた。	
	13 週	交流ブリッジ回路	ブリッジ回路に関する回路計算について理解できた。	
	14 週	記号法による電力の計算(1)	記号法を用いた電力計算について理解できた。	
	15 週	記号法による電力の計算(2)	複素電力について理解できた。	
	16 週	学年末試験	後期 11 週～15 週までの範囲の試験問題を解く。	

\* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった。